

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	福島県立橋高等学校 1・2学年 600名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合学習 ) ② 行事名 ( オリンピックの歴史と理解 ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	そもそも、オリンピックとは何か？ その歴史を学び、来る2020東京オリンピック・パラリンピックを楽しむことや、ボランティアを通じて参加することへの意義を学ぶ。
5 取組内容	福島大学人間発達文化学類の蓮沼哲哉先生を招き、本校1・2学年の生徒600名を対象として、講演会の形式でオリンピック・パラリンピックについてお話をいただいた。
6 主な成果	生徒にとってオリンピックに参加するということは、競技者が国を代表して出場するものであるという感覚があったようだ。しかし講演会を通して、オリンピックの運営には特に多くの人に支えられていることは知識として知り、ボランティアに興味があるという生徒が多く存在していた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	生徒たちにとっても身近なオリンピックではあるが、オリンピックの歴史も含めて展開したかったので、オリンピックよりは研究者を講師として招いた。そのことを十分理解していただき、講演を行っていただいた。

8 主な課題等	<p>オリンピックにボランティアとして参加できる可能性は十分理解させることはできたが、実際に応募するなど行動に移せるかどうか課題である。</p> <p>高校生にとって1年半後ことは2学年にとっては受験生として夏休みの計画があり、また1学年にしても部活動の試合や合宿等、現代の高校生は非常に忙しいというのが現状である。</p>
9 来年度以降の実施予定	なし